



第66号
H28.3.25 発行

■編集・発行

田彦中学区地域づくりの会・広報委員会

TEL.274-5222 FAX.276-1609

〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128

田彦コミュニティセンター内



水戸大神楽と 地域芸能鑑賞会

時折寒さも緩み始めた2月6日、実践部会主催で『水戸大神楽』をゲストに鑑賞会を開催しました。今回田彦中学区では初の試みとして、地域で芸能活動をしている方々の披露する会も兼ね、二部構成で行いました。

まず第一部は地域住民による芸能発表。花笠踊りで賑やかにスタート、民舞・舞踊ではベテランの華やかさに魅了され、太鼓と唄に聴き惚れ、オカリナの演奏では素朴な音色にホッコリしました。またピアノとオカリナのリードで観客の皆さんと合唱、全員参加で和んだところで第一部が終了となりました。

第二部、宗家、柳貴家正楽一座による水戸大神楽。まず獅子舞で神仏に捧げ、傘を回している上に様々なものをのせる曲芸や、茶碗とバチを高く繋げていく曲芸等々、観客はドキドキしながら楽しみました。

第十回を迎えた

地域文化展

日頃、研鑽を積んでいらしやる地域の皆様方の作品を一同に会し、鑑賞していただく「地域文化展」は去る2月20・21の二日間、田彦コミュニティセンター内集会室・ロビーを会場に、絵画・生け花・手芸・写真・絵手紙・陶芸・子ども達の作品・そして小・中学生の作品など、地域の芸術家達の作品が豪華に勢ぞろいしました。

他の地域から来られた方から、作品のレベルの高さに驚いたとの感想をいただき、又じっと作品に見入っておられたのが、印象的でした。

出品者の方々には、会場づくりから片付けまでご協力いただき、立派な手作りの文化展が出来ましたことを心より感謝申し上げます。



平成 28 年度 ひたちなか市生涯学習講座 田彦コミュニティセンター開催分のお知らせ

【前期】3月25日から4月15日募集

No	講座名	回数	開催時期	曜日・時間	対象者	定員
861	初めてのコーラス	8	6月～11月	第2・4木曜日 9:30～11:30	成人	30人
862	知って納得暮らしの講座 ―暮らしに係る課題を学習―	5	6月～11月	第1木曜日 9:30～11:30	成人	20人
863	親子でスキップ教室 ―コミュニケーションと子育て―	5	6月～11月	第1水曜日 10:00～11:30	2歳～未就園児と保護者	15組 30人

【後期】8月下旬募集

No	講座名	回数	開催時期	曜日・時間	対象者	定員
864	生活習慣病の予防食 ―旬の食材を活かした家庭料理―	4	10月～1月	第4火曜日 9:30～12:00	成人	20人
865	ハーブとアロマで潤い生活 ―ハーブとアロマの活用術―	6	10月～12月	第1・4月曜日 10:00～12:00	成人	20人

【学校を通して募集】

No	講座名	回数	開催時期	曜日・時間	対象者	定員
866	わくわく児童教室 ―色々な分野の体験学習―	5	6月～11月	第2土曜日 9:30～11:30	田彦小1～3年生	30人
867	おもしろ児童教室 ―色々な分野の体験学習―	5	6月～11月	第4土曜日 9:30～11:30	田彦小4～6年生	30人

* 児童教室は、明成田彦幼稚園・田彦小学校を通して募集します。

▶ 申込期限 … 4月15日(金) 必着
▶ 申込方法 … 往復はがき(市報参照)

お問い合わせ

生涯学習センター(旧中央公民館)
☎029-272-6301

皆様のご参加を
お待ちしております!





72時間の生存力をつける！

人は72時間以内に救出されない
と、生存率が急減すると言われて
います。2月10日「そなエリア東
京・防災体験学習施設」で研修会
を行い、多くの体験と知識を学び、
参加者から好評を戴きました。

防災体験ゾーンでは発災↓建物
から脱出↓被災地域通過↓避難所
到着迄をタブレット端末の指示に
従い、注



意事項を
確認しな
がら移動
する訓練
防災学習
ゾーンで
は自助体
験。事例
に学ぶ自
助の知恵
災害と暮
らし等、

盛り沢山の内容の知識を学び、映
像ホールではM8・0直下地震を
体験。

非常食は一か所ではなく分散保
管、水が不要な餅や栄養素に富ん
だ果物の缶詰が推奨等の知識も学
びました。

〔安全福祉部会〕

常陸國風土記の 書かれたころ！

12月12日(土) 34名参加のもと
移動歴史教室(水戸→石岡→つく
ば)を開催した。

大串貝塚(水戸市塩崎町)は、
那珂川と涸沼川に挟まれた台地
で、縄文時代前期の世界最古の遺
跡(貝塚)である。この貝塚と巨
人「ダイダラボウ」とを結びつけ
た伝説がある。

風土記の丘(石岡市)鹿の子遺
跡は奈良時代後期から平安時代の
軍需工場で多くの工房跡が見つか
り、復元家屋も多く、古代の茨城
を伝える施設である。

平沢官衙遺跡(つくば市)は、
千年以上前の奈良・平安時代の筑
波郡の役所
跡である。

一般の遺跡
では見られ
ない高床式
倉庫で、税
である稲や
麻布などを
収めた郡役
所の正倉跡とのこと。



講師斉藤 新先生の解説による
学びの楽しい教室であった。

〔文化部会〕

原子力災害に 備えた環境講座

1月30日茨城県の出前講座の一
環として、「広域避難計画につい
て」の講座を開催し85名の参加を
いただきました。

前日夜半から雪が降り続き、足
元の悪い中、ゴム長靴で歩いて出
席された方もおられ、皆様の関心
の高さに



画書を配布。災害に備えた計画の
基本事項の説明がありました。

対象市町村・避難先・避難経路・
防護措置等の説明があり、その後
質疑に移りました。終了時間迄多
くの質問があり、一つ一つ丁寧な
回答がありました。

只「提示された計画書通り事は
進まない」との指摘に対し、対応
について「緊急時のマニュアルづ
くりと受け入れ先等」今後協議し
ていく旨の説明がありました。

〔環境部会〕

『ふれあいスキー』報告

いやあ！今年は雪不足に悩み
ました。

毎年、1月の第二土曜日に猪苗
代スキー場で実施してきました
が、暮れから正月、ライブ映像で
も積雪ゼロ……。今年は中止
か……。でも何とか連れて行き
たい！と打開策を模索した結果、
出発五日前に急遽『グランデコス
キー場』

へ変更。
これは幸
いにも申
請してい
た福島会
津地方振
興策『ス
キーバス
補助金』
の許可が
おり、予
定外の団
体を受け入れてくれたスキー場の
対応等、関係者のご協力のおかげ
です。当日はコンディションもま
あまあ、リフト等は混み合いまし
たが怪我無く、皆一日楽しく滑る
ことが出来ました。



関係者・福島の皆様には本当に
感謝申し上げます。

〔青少年部会〕

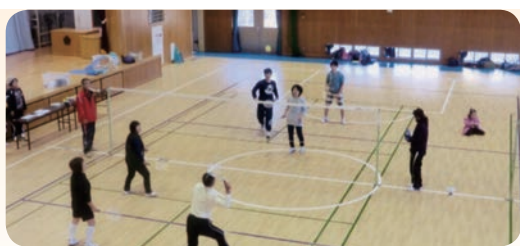
楽しくスポーツを

11月29日、恒例のファミリーバ
ドミントン大会が、田彦小体育館
において、52名の参加で開催され
ました。

ファミリーバドミントンは、一
般のバドミントンと違い、短いラ
ケット、スポンジのシャトルを使
い、3対3でゲームします。又、
2打以内で返す為、親子三代でも
楽しめるスポーツです。

今回も、大人チームと家族チー
ムに分けてゲームをしました。各
チームともラリーが続く大熱戦で
した。

日頃、運動不足のお父さんお母
さん、スポーツが苦手な子供達で
も、楽し



く汗を流
す事が出
来るので、
健康増進
や、身体
を動かす
事が好き
になつて
もらえる
為にも、
皆様の参
加をお待
ちしてい

ます。
レッツ、スポーツ!!

〔体育部会〕



自分の頭で考える

西大島 小林 清徳



巷間耳にして
久しいが、世の中には様々な報道や情報が氾濫し交錯している。

テレビ報道等を耳にし、不安を感じられている方々も多いであろう。私もかつてはその一人であった。しかし、幾つかの報道は、意図的に流されていたことは、歴史が証明している。

では、どの様にしたらその不安を取り除くことができるであろうか？私は「自分の頭で考える」ことを実践している。テレビや新聞報道を鵜呑みにせず、因果関係に疑問を感じたら、他情報を含めて取捨選択し体系立てて行くのである。その訓練により、真摯情報の見極めが可能となる。

一人でも多くの人々が自分の頭で考えることができれば、偽情報に惑わされることなく、ひいては70年以上前の惨劇の再発防止ができると、常日頃考えている。

自治会活動を通して

常端 大森 昌幸



堂端自治会の
班長として、2
年間、自治会活
動に携わってきま
した。各種行事

に参加し、多くの皆さんと接することができて、大変有意義な時間を過ごすことができ、感謝いたします。

自治会では、環境衛生委員を担当し、地域清掃活動・花と緑の普及運動で、多くの皆さんに参加協力をいただき、ゴミ拾いや花植え作業を行い、きれいな住み良い地域づくりができたと思います。

地域活動の活性化には、いかに多く参加者を集めるかですが、行事計画や参加者募集では、苦勞しましたが、高齢化で減少の一方で、若者の入会者も増えていますので、今後の活動が盛会に進むことを祈念しています。

もうすぐ任期を終えますが、これからも地域の一員として、自治会活動に参加していきたいと思っています。

地域自治会活動に参加して

大島公園西 島山 進



田彦住宅班の
班長を昨年から
担当しています。
当班は、昭和63
年に宅地造成・

分譲され、翌平成元年から自治会

運営が始まりました。最初は、分

譲会社のサポートで45世帯の自治

会組織が編成され、その後の転出・

転入などで現在では38世帯の班へ

と変遷してきました。発足当時、

畑や沼地だったところは、田彦中

学校が新設され、団地内では多く

の子供たちの声が響き渡り、遊び

回っている姿がありました。28年

の時を経て、その子供達も巣立ち、

それぞれ新たな地で「城」を築い

ている世帯が多いようです。従っ

て、現在当班も高齢化が進み、自

自治会の研修に参加して

田彦東 笹崎 光男



今まで、私は
自治会に会費を
納めるだけの、
無関心な会員で
したが、今回、

自治会の研修に、初めて参加し
行ってきました。

そして、第一に幹事さんが大変
苦勞していると感じました。

会員の皆様がもう少し、自治会活
動に興味を持って、参加出来たら

と思います。

さて研修の行程は花王鹿島工場
見学後、ホテルでの昼食会、鹿島
神宮参拝です。

神宮ではガイドさんの説明を聞
きながら、個人で行くのと違った、
新鮮な気持ちになり、境内を散策
し帰路に着きました。又チャンス
がありましたら参加したいと思い
ます。

班長になって

田彦西 藤咲 勝一



退職後、趣味
に明け暮れる
日々、地域の方々
との交流も少な
く過ごしていま

した。そのような時、自治会の班
長の誘いが有り、即答出来ずにい
たが、地域の為に何か出来ること
があればと思い引き受ける事にし
ました。自治会では、様々な行事
活動が有り、係わる事によって大
切さに気付かされています。多く
の人と出会い、いろいろな経験が
出来た4年間でした。特に印象に
残っているのは2年前、文庫・福
祉系を担当した時、区民会館にて、
ひとり暮らし食事会行事で、バン
ド演奏、ビンゴゲーム、お菓子の
掴み取りなど行なっていて、和気藹々
の時間を過ごした事。高齢化が進
む中、地域のつながりが大切であ
ることを実感しました。

自由投稿通信

地元消防団の 皆様に感謝



「カラン・コロン・カラン・カラン」
その鐘の音は決まって私が、湯船に
つかっている時に聞こえて来る。

「こちららは地元消防団です。火の元
にご注意ください。」という声と共に
「カラン・カラン」という音が冷たい
外気を破って湯気でももった私の耳
もとを通り過ぎて行く。その音を聞
くと、あー今日も守られているとい
う安心感で一日を終えることが出
来ます。

人生の後半になってやつと多くの
方に守られて生きている事に気付か
されました。

消防団の皆様の中でのご苦勞
に感謝しながら、就寝前の火の確認・
スイッチの確認を続けております。
本当に有難うございます。感謝申
し上げます。団員の皆様もどうぞお
体に十分気をつけてお過ごし下さい。

編集後記

寒暖の差が日々著しく、体調管
理も大変ですね。

広報紙も66回、22年を迎えまし
た。この間白黒から二色刷りとし
てカラー印刷と紙面も、より充実
しているように感じます。

これからも皆様方に、親しんで
頂ける紙面を目指して学んで行き
たいと思います。

ご意見、ご要望等是非お寄せく
ださい。